

## 学生ブックツアーの 新着本が入りました！

- 盤上の向日葵
- 苦汁200%
- 続 ざんねんないきもの事典
- りさ子のガチ恋 俳優沼
- おちやめに100歳！寂聴さん
- 話し方の「加齢臭」
- 猫ミス！—BOCアンソロジー
- ポッチとノンノ ……………他(全32冊)



## 近代文学復刻版コーナー

図書館に「近代文学の復刻版」というコーナーがあるのをご存知ですか？これは明治以降の日本の近代文学における名著の初版本を、復刻したシリーズをまとめたコーナーです。近年、文豪をモチーフにした漫画やゲーム等が人気ですが、出版時を忠実に再現した復刻版で当時に思いを馳せてみるのはいかがでしょうか。



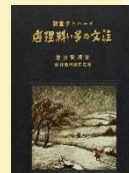
2Fカウンター前にあります



『月に吠える』  
萩原朔太郎



『伊豆の踊子』  
川端康成



『注文の多い料理店』  
宮澤賢治

「新着おすすめ」「コーナーにあります！」  
図書館だよりのおすすめ本はカウンター前の



『ちいさい  
言語学者の冒険』  
広瀬友紀 著

先生が選んだおすすめの1冊

『ちいさい言語学者の冒険 子どもに学ぶことばの秘密』 広瀬友紀 著  
(こども学科 佐久間美羊 准教授)

子どもと生活を共にするようになってから、改めて言葉の面白さに気づかされている。言語学をかじった私は、我が子が「面白い」言葉を発するたびにメモにしたためてきた。「プレゼレント(プレゼント)」、「ヘリポクター(ヘリコプター)」、「スパデッキイ(スパゲティ)」などなど数えればきりが無い。どれも「子ども語あるある」で、皆さんの周りのお子さんにも見られる表現なのではないだろうか。

では、なぜそのような言い間違いになるのだろうか？本書は「子ども語あるある」を分かりやすく説明している。前述の3例は全て異なるタイプの言い間違いである。本書に沿って分析すると、「プレゼレント」は「レ」や「ゼ」という拍の入れ替わりのため、「ヘリポクター」は「k」と「p」という子音の入れ替わりのため、そして「スパデッキイ」は口の中で発音に使う場所(調音点)の入れ替わりにより生じている。

私たちが母語を習得していく過程で、音の出し方を教わることは稀である。口の形、舌の位置、声帯の震わせ方など教わらずとも、子どもたちは無意識のレベルで各器官を色々と働かせて発声している。私たち大人もそのような旅を経て、今このように言葉を操っているのである。

最後にクイズ..「ねむじ」はどの言葉の言い間違いでしょう。答えは本書で。



『暗黒女子』 秋吉理香子 著

(経済学科二年 岩瀬あかな)

聖母女子高等学院の眉目秀麗な白石いつみ。そんな彼女が謎の死を遂げた。

彼女と同じサークルに所属する六人の生徒たちによる証言で恐ろしい事実が明らかになる：

この作品は2017年には実写映画化もされている。各章ごとに二転三転する展開にページをめくる手が止められなくなる。

この小説では六人の少女たちのそれぞれの視点からそれぞれの知る「白石いつみ」、「白石いつみと自分以外のサークルの人間」の関係が語られていく。

それぞれの持つ想い、一人ひとりの知る秘密、これらが短編小説といった形で語られていくところもこの作品の魅力の一つであると感じる。

ラストではさらに読者を裏切る展開に驚かされる。誰も抱えている黒い部分である知られたくない秘密、言えない過去、そこに混ざり合う大人でも子供でもない危うい女子高生同士の特有の関係性：

美しくも恐ろしい、少女たちの思いが混ざり合い織り成す物語である。

読み終えた後に再び読み直したくなるそんな一冊だ。



『暗黒女子』  
秋吉理香子 著

『掲載禁止』 長江俊和 著

(ビジネスライフ学科二年 川久保由香)

私がおすすめするのは、長江俊和さんの『掲載禁止』です。

作者の長江俊和さんは昔放送されていたドラマ『放送禁止』シリーズの脚本家さんです。小説でも『放送禁止』シリーズのようななんとも言えない不気味さや不安感などを感じる事ができると思います。

内容は五つのミステリー短編です。どのお話も叙述トリックが使われていて、まさかこういうことだったとはと驚かされます。そのなかでも私が一番面白いと思ったのは、『マンションサイコ』です。ある女性があるマンションの一室で過ごしている場面から始まりますが、その次から始まる文章でだんだん普通の生活からかけ離れていき、なんと元カレの部屋の天井裏で生活をしているということが明らかになります。別れた後も元カレから離れたくない、忘れたくないと思

った女性はしばらく天井裏で暮らすことになりました。そしてラストでは衝撃的な事実が明らかになります。

最後まで読んでみると解釈の仕方が変わったり、難しい部分もあったりしますが、何度も読み返したくなる一冊だと思います。

最後まで読んでみると解釈の仕方が変わったり、難しい部分もあったりしますが、何度も読み返したくなる一冊だと思います。



『掲載禁止』  
長江俊和 著

図書館ミニ情報

開館時間

平日 8:45~19:00  
土曜日 8:45~16:30

貸出冊数・貸出期間

- 大学・短大・科目等履修生  
10冊まで・2週間
- 大学院生  
20冊まで・一ヶ月
- 地域利用者  
5冊まで・2週間

学生の皆さんは4月に行った図書館ガイダンスをまだ覚えていますか？ 忘れてしまっている方のために改めて図書館の基本情報をご案内します。

本学の図書館は、1限の授業開始前から5限が終了したあと午後7時まで開館しています。授業前に本を返却したり、授業の後で勉強や読書に利用することができます。朝夕は利用者が少なく、いつもより落ち着いた空間となっていますので、ぜひご活用ください。

また、学生は1度に10冊(大学院生は20冊)まで借りることができます。レポート等の参考図書として多く本を借りたいときにも十分な冊数なので、どんどん図書館を利用してください。

